

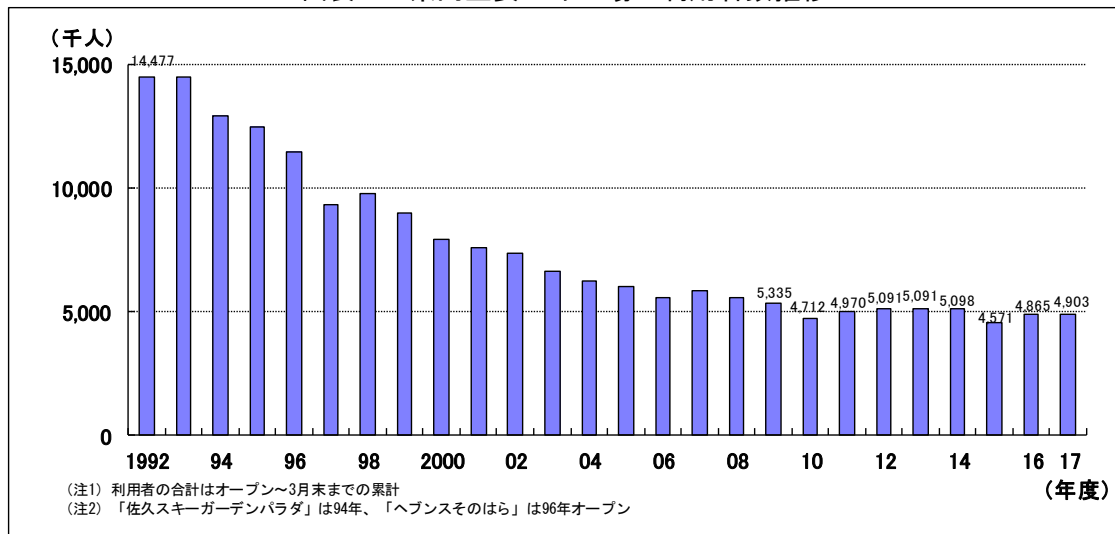
2017年度県内主要スキー場利用動向調査（速報）

～利用者数は2年連続で増加、外国人利用者はアジア系の増加が目立つ～

1. 利用者数は2年連続で増加するも、500万人には届かず（図表1）

- ・2017年度の県内主要23カ所のスキー場利用者数は、前年度(486万5千人)を3万8千人上回る延べ490万3千人、前年度比+0.8%と、2年連続の増加となった。
- ・ただし、500万人程度で推移していた12～14年度の水準には及ばなかった。

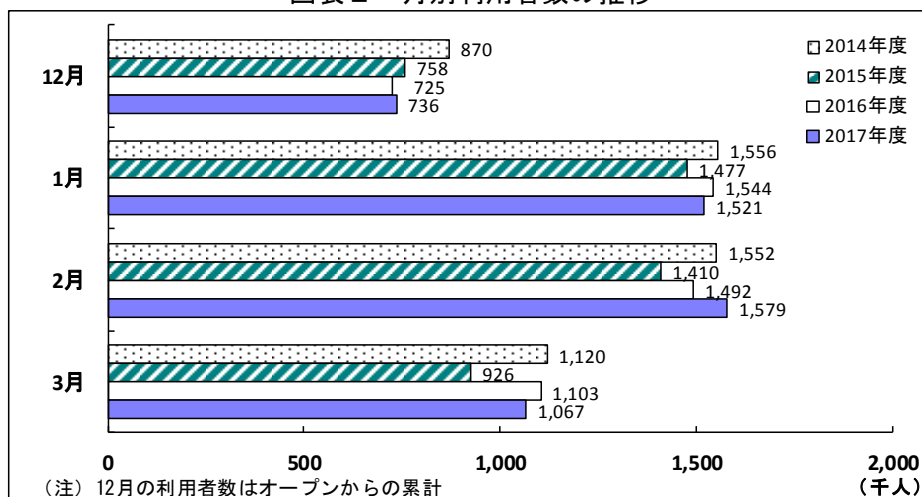
図表1 県内主要スキー場の利用者数推移



2. 3連休中心に2月の利用者数は伸びるも、1、3月は前年比で減少（図表2）

- ・12月は、冬型の気圧配置が強まったことで、北部を中心に早めの降雪に恵まれた。また、気温の低い日が続いたことにより、人工降雪機によるゲレンデ整備も進んだ。これにより、シーズン当初に雪不足だった前年に比べ利用者数を伸ばしたスキー場が大北地域や長野地域を中心に半数程度あった。
- ・1月は、天候に恵まれ利用を伸ばしたスキー場もあったが、利用が堅調だった前年には及ばなかった。
- ・2月は日並びの関係で3連休があったことや、週末を中心に入り込みが好調で、全地域で利用者数が増加した。
- ・3月は、気温の上昇や降雨の影響でゲレンデを一部閉鎖したスキー場もあり、全体の利用者数は減少した。また、日並びの関係で、前年のような3連休が無かったことも集客に影響した。

図表2 月別利用者数の推移



3. 15カ所のスキー場で利用者数が前年度に比べ増加（図表3）

- ・前年度に比べ、15カ所のスキー場で利用者数が増加した。
- ・12月は、早目に積雪を確保できたことで前年よりも利用者数を伸ばしたスキー場がある一方、周辺のスキー場も滑走可能となったことで利用者が分散し、利用者数を減らしたスキー場もあった。
- ・県南部では、気温の上昇や降雨の影響で一部のコースを3月途中で閉鎖したことにより、利用者数の減少につながったスキー場もあった。
- ・外国人利用者は、オーストラリアのほかアジア諸国を中心に引き続き増加した。特に、大北地域や北信地域を中心に、台湾や中国、東南アジア諸国などアジア系の利用者数の増加が目立った。今年は、中国の春節が2月になったことから、同月の中国人客の利用が伸びたスキー場もあった。また、大北地域のスキー場では、欧米からの利用者増加もみられた。

図表3 2017年度県内主要スキー場の月別利用者動向

スキー場	市町村	利用者数（千人）					前年比（％）				
		2017年12月	2018年1月	2月	3月	合計	2017年12月	2018年1月	2月	3月	合計
佐久地域		96	163	171	102	532	▲ 2.3	▲ 3.8	3.9	0.3	▲ 0.4
佐久スキーガーデン パラダイズ	佐久市	14	53	56	29	152	21.0	1.0	1.0	▲ 6.0	1.1
軽井沢プリンスホテル	軽井沢町	73	90	94	61	318	▲ 8.4	▲ 6.5	4.1	2.9	▲ 2.3
しらかば 2in1	立科町	9	20	20	12	61	31.3	▲ 3.4	11.5	3.9	6.9
上小地域		56	105	134	83	378	1.6	1.5	4.6	▲ 1.2	2.0
湯の丸	東御市	26	52	45	38	161	▲ 2.0	3.0	3.8	▲ 5.7	0.2
菅平高原	上田市	29	54	89	45	217	5.0	0.0	5.0	3.0	3.3
諏訪地域		35	85	91	49	261	▲ 6.1	▲ 6.3	4.0	▲ 6.1	▲ 2.9
車山高原	茅野市	16	36	38	21	111	▲ 18.5	▲ 4.2	2.7	▲ 17.9	▲ 7.3
富士見パノラマ	富士見町	19	49	54	29	150	8.0	▲ 7.9	4.9	4.7	0.7
下伊那地域		5	18	19	7	48	▲ 28.7	▲ 15.9	10.9	▲ 28.2	▲ 11.5
ヘブンスそのはら	阿智村	5	18	19	7	48	▲ 28.7	▲ 15.9	10.9	▲ 28.2	▲ 11.5
木曾地域		5	10	11	12	38	▲ 17.0	▲ 25.8	6.7	▲ 4.6	▲ 10.5
おんたけ2240	王滝村	5	10	11	12	38	▲ 17.0	▲ 25.8	6.7	▲ 4.6	▲ 10.5
松本地域		15	27	26	20	88	14.2	1.0	4.5	▲ 8.4	1.7
マウント乗鞍	松本市	15	27	26	20	88	14.2	1.0	4.5	▲ 8.4	1.7
大北地域		207	396	409	252	1,264	21.4	3.8	9.0	▲ 2.6	6.6
鹿島槍	大町市	12	35	29	17	93	6.2	5.1	▲ 3.6	▲ 16.6	▲ 2.2
白馬八方尾根	白馬村	62	124	124	75	385	42.2	9.0	10.8	▲ 5.7	10.4
白馬岩岳	白馬村	11	38	50	21	121	69.7	52.5	13.9	▲ 13.5	20.5
白馬五竜・47	白馬村	82	118	120	84	404	10.0	▲ 6.9	12.7	7.5	4.7
梅池高原	小谷村	40	81	86	55	262	15.8	▲ 2.4	3.9	▲ 2.5	2.1
長野地域		36	105	87	56	284	14.7	6.3	8.5	▲ 1.2	6.3
タングラムスキーパーク	信濃町	12	34	29	18	92	▲ 4.5	1.3	1.8	▲ 1.9	0.1
黒姫高原スノーパーク	信濃町	10	37	28	17	92	64.8	14.0	26.9	17.7	22.6
戸隠	長野市	15	34	30	21	100	9.5	3.5	1.3	▲ 12.2	▲ 0.0
北信地域		280	611	631	487	2,009	▲ 8.4	▲ 4.1	4.4	▲ 4.0	▲ 2.2
戸狩温泉	飯山市	10	27	48	25	110	▲ 18.2	▲ 6.8	6.1	8.5	0.5
斑尾高原	飯山市	19	53	63	35	170	▲ 22.7	▲ 12.0	▲ 6.2	▲ 10.9	▲ 11.1
志賀高原	山ノ内町	149	258	244	208	860	▲ 9.1	▲ 4.6	8.5	▲ 10.0	▲ 3.5
北志賀高原	山ノ内町	46	140	156	141	483	▲ 3.2	▲ 3.6	2.6	2.9	0.3
野沢温泉	野沢温泉村	56	133	121	77	387	▲ 2.5	0.4	4.5	1.4	1.4
県内主要23スキー場合計		736	1,521	1,579	1,067	4,903	1.5	▲ 1.5	5.8	▲ 3.3	0.8

（資料）調査票をもとに長野経済研究所作成

（注1）四捨五入の関係から、各月の和が合計に一致しない箇所がある

（注2）12月の利用者数はオープンからの累計

（注3）「志賀高原」は志賀高原18スキー場、「北志賀高原」は4スキー場の合計

（注4）2014年度から「Hakuba47ウィンタースポーツパーク」は「白馬五竜」と合算

【調査の概要】

1. 調査対象

当研究所が毎年、定点調査している県内の主要スキー場23カ所（県内スキー場利用者数全体のおよそ7割に相当）

2. 調査対象期間

2017年11月以降のオープン～2018年3月31日まで

3. 調査方法

当該スキー場ないしスキー場を管轄する市町村に調査票を配布・回収した

4. その他

詳細は「経済月報6月号」に掲載予定

照会先 長野経済研究所
調査部 村田・吉澤
電話 026-224-0504

以上